

全国産業安全衛生大会

一築こう未来へ 安全と健康でつなぐ 復興の架け橋—
防災・危機管理を特別企画
17年ぶりの仙台で開催

さかきばらさだゆき

中央労働災害防止協会（会長 榊 原定 征・（一社）日本経済団体連合会会長）（※）は、本年 **10月19日（水）から21日（金）までの3日間**、仙台市体育館ほか仙台市内の各会場で、「**第75回 全国産業安全衛生大会**」を開催します。

本年は、東日本大震災の発生から満5年を経過した節目の年に当たります。本大会では、被災された事業場などが震災から得た教訓を広く大会参加者が共有し、防災・震災対策、危機管理の重要性を再度確認するとともに、企業におけるこれらの好事例の情報提供を通じて、東日本大震災やこのたびの熊本地震からの復興支援の一助となるよう安全で健康な職場づくりを支援します。また併せて、職場の安全衛生活動を通じて、地域社会の復興、活性化への貢献を果たしている事例などの紹介により、労働災害防止活動の一層の機運の醸成を図ることを目的として開催します。

1日目の総合集会では、宮城県女川町出身の俳優・歌手の中村雅俊さんと福島県喜多方市出身のフリーキャスターの唐橋ユミさんによる「故郷と復興への思い」をテーマにした**スペシャルトーク**を行います。

また、本大会の開催に併せ、安全衛生保護具などの展示や体験を行う、**「緑十字展2016—働く人の安心づくりフェア in 仙台—**」（12頁参照）を同時開催するほか、**被災地を巡るスタディツアー**が企画されています。

（※）中央労働災害防止協会（以下 略称「中災防」）は、昭和39年に労働災害防止団体にに基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、「企業の人材の育成」、「安全衛生の専門技術の提供」、「最新安全衛生情報の提供」などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

（注）本発表資料は、宮城県政記者クラブ（31日午前11時会見）の他、厚生労働省及び経済産業省の記者会等、北海道・愛知・富山・大阪・広島・香川・福岡の道府県政記者クラブ、自動車産業記者会、鉄鋼研究会、安全衛生関連の各業界紙等に配布します。



中央労働災害防止協会 教育推進部長 中屋敷 勝也

【照会・取材先】

中央労働災害防止協会 総務部 上席専門役 間 宮 直 樹

（電話）03-3452-6542 （FAX）03-3452-9225

（E-mail） koho@jisha.or.jp

全国産業安全衛生大会 仙台大会の概要

全国産業安全衛生大会は、昭和7年の第1回開催以来、産業現場での安全と健康の確保を誓う国内最大の安全衛生イベントで、今年で75回目を迎えます。

本年も、わが国の事業場の経営者、産業安全・労働衛生スタッフ、管理・監督者、産業保健スタッフなどの働く職場の安全衛生に関わる関係者約1万人が地元宮城県をはじめ全国から参集し、3日間の会期を通して産業現場での労働災害ゼロと健康の増進をめざします。

○ 1日目 (10月19日・水)

仙台市体育館における総合集会では、開会式(中災防会長式辞、厚生労働大臣、宮城県知事、仙台市長の祝辞等)、安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省労働基準局による労働災害減少に向けた講演が行われます。

続いて、宮城県女川町出身の俳優・歌手の中村雅俊さんと福島県喜多方市出身のフリーキャスターの唐橋ユミさんによる、“故郷と復興への思い”をテーマにしたスペシャルトークが行われます。



中村雅俊さん



唐橋ユミさん

○ 2、3日目 (10月20日・木、21日・金)

労働災害防止や健康保持増進に関連するテーマごとに分科会を開催します。

仙台国際センターほか仙台市内の各会場で12の分科会(11会場)に分かれ、事業場の研究発表や事例報告、専門家による講演、パネルディスカッションなど、合わせて272題の多彩な演題を準備しています。

特に、本大会は大会のテーマに即して「**防災・危機管理分科会**」を新設し、企業における防災・震災対策、危機管理の好事例などを取りまとめて提供します。

さらに、最新情報として、発行準備が大詰めを迎えた**ISO45001**(労働安全衛生マネジメントシステム)、法改正に伴い実施が義務付けられた**ストレスチェック制度**と**化学物質のリスクアセスメント**に関する講演、パネルディスカッションなども行います。

全国産業安全衛生大会の 見どころ、聴きどころ

1 企業防災・震災対策、危機管理、事業継続計画（BCP）及び安全衛生事例の集約・紹介（10月20日、21日 防災・危機管理分科会ほか各分科会）（本紙6頁以降参照）

東日本震災の経験を踏まえた、企業における防災・震災対策、危機管理、事業継続計画（BCP）及び職場の安全衛生について、シチュエーションが異なる80の具体的な事例を紹介します。

2 震災対応事例（講演）

（1）講演：東北電力 女川原子力発電所被災対応事例（10月20日 防災・危機管理分科会）

東日本大震災発生時の女川原子力発電所長による、過去の経験を踏まえた各種安全対策や訓練により難局を乗り越えた具体例についての特別報告です。

（2）講演：国土交通省・東北地方整備局 初動対応事例（10月21日・防災・危機管理分科会）

東日本大震災において国土交通省東北地方整備局が取り組んだ初動対応と復興の現状についての特別報告です。

3 防災・危機管理パネルディスカッション（10月20日 防災・危機管理分科会）

沿岸地域の津波被害の低減に関する今後の企業、行政、研究機関の果たすべき役割について、東北大学災害科学国際研究所の今村文彦所長他、企業・行政の関係者が専門的知見を交えて探ります。

4 ISO45001規格のパネルディスカッション（10月20日 リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会）

国際標準化機構（ISO）の労働安全衛生の新設認証規格であるISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）の発行準備が大詰めを迎えています。

中災防は日本語版規格となるJISの原案作成を進めており、事業のグローバル化を進める企業にとって有益なISO45001のいち早い取り込み、第三者認証の活用等、役立つ最新情報が提供されます。

5 法改正に伴う新たな展開（10月20日 マタルヘルズ/健康づくり分科会、10月21日化学物質管理分科会）

法改正に伴い実施が義務付けられたストレスチェックに係る事例を紹介するほか、化学物質のリスクアセスメントにおける簡易ツールの活用について専門家が話し合います。

6 東日本大震災 被災地スタディツアー（10月19日、20日、21日）

地元の旅行会社による被災地めぐりと事業場見学をセットにした「**東日本大震災被災地スタディツアー**」を企画しています。

被災した3事業場（日本製紙石巻工場、キリンビール仙台工場、仙台港サイロ）の視察により、減災と復旧の取組の現状を知ることができます。

また、石巻観光協会のボランティアガイド「語り部」の方々により、被害の大きかった石巻地区を案内しながら「大震災まなびの案内」を語ってまいります。

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）

12 の分科会と主なテーマ

- (1) 防災・危機管理
企業における防災・震災対策、危機管理、事業継続計画(BSP)事例等
- (2) リスクアセスメント／マネジメントシステム
ISO45001 及び JIS 作成の最新情報、労働安全衛生マネジメントシステムの導入による安全衛生活動の改善事例、企業におけるリスクアセスメント事例等
- (3) 安全管理活動
作業方法、作業手順等による安全対策をはじめとする安全管理活動事例等
- (4) 機械・設備等の安全
機械・設備に関するリスクアセスメント事例、機械・設備の安全対策事例
- (5) 安全衛生教育
企業内における安全衛生教育等の取組み事例等
- (6) ゼロ災運動（※1）
ゼロ災害全員参加運動による安全衛生活動事例、危険予知活動による安全衛生活動事例
- (7) 交通安全
職場の交通安全対策事例等
- (8) 労働衛生管理活動
職場の作業環境管理、作業管理及び健康管理に関する事例等
- (9) 化学物質管理
化学物質に関する安全衛生活動事例等
- (10) メンタルヘルス／健康づくり
職場のメンタルヘルス対策に関する事例、健康づくり活動に関する事例等
- (11) 中小事業場
中小事業場の安全衛生活動や健康づくり活動に関する事例等
- (12) 第三次産業
第三次産業における安全衛生活動や健康づくり活動に関する事例等

(※1) **ゼロ災運動**（ゼロ災害全員参加運動）とは、「働く人の立場に立って人間一人ひとりを大切にし、ゼロ災害、ゼロ疾病を究極の目標に職場の危険や問題点を全員参加で解決し、安全と健康を先取りすることによって明るくいいきとした職場風土づくりをめざす運動」です。

具体的には、職場の安全先取り活動である危険予知（KY）活動、指差し呼称、5S 活動等を行うことによってヒューマンエラーによる事故を防止し、職場の安全水準を上げるための現場力の向上を図る運動として多くの職場で導入されています。

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）

講演演等の一覧（全 19 件）

No.	期 日	分科会	項 目	演 者	演 題	所 属・役 職
1	10月19日 (水)	総合集会	スペシャル トーク	中村 雅俊 唐橋 ユミ	故郷と復興への思い	俳優・歌手 フリーキャスター
2			講演	厚生労働省 労働基準局	(未定)	(未定)
3	10月20日 (木)	防災・危機 管理分科会 (第1会場)	講演	渡部 孝男	東日本大震災時の女川 原子力発電所～現場か らの報告～	東北電力(株) 取締役副社長
4		安全管理活 動分科会 (第1会場)	講演	野澤 英児	産業安全の現状と課題 —第12次労働災害防止 計画の取り組み等につ いて—	厚生労働省 労働基準局 安全衛生 部 安全課長
5			講演	福和 伸夫	見たくないものも目を そらすことなく地震時 の事業継続を図る	名古屋大学 減災連携研究センター 長・教授
6		安全管理活 動(第2会 場)	講演	杉本 旭	入門 機械安全 —こ れから取り組む担当者 に—	元明治大学 理工学部 教授
7		安全衛生教 育分科会	講演	古澤 登	カイゼンを継続的に続 ける人と組織づくり ～モノづくりは人づく り～	安全と人づくりサポート 代表
8		第三次産業 分科会	講演	阿部 憲子	大震災と地域と観光の 力 ～地域とともに歩 むホテルをめざして～	(株)阿部長商店 南三陸ホテル観 洋 女将
9		労働衛生管 理活動分科 会	講演	石井 正	石巻赤十字病院の災害 への備えと石巻医療圏 における実災害対応	東北大学病院 総合地域医療教育支 援部 教授
10		ゼロ災運動 分科会	講演	矢部 輝夫	安全を創る 7 つのキー ワード	(同)おもてなし創造カンパニー 代 表
11		メンタルヘ ルス/健康 づくり分科 会	講演	広瀬 俊雄	大震災による産業スト レスの特徴と取り組み	(公財)宮城厚生協会仙台錦町診療 所・産業医学センター センター長
12			講演	武田 康久	事業場における治療と 職業生活の両立支援に ついて	厚生労働省 労働基準局 安全衛生 部 労働衛生課長
13			講演	黒澤 一	身体活動性～職場の健 康づくりのキーワード ～	東北大学 環境・安全推進センター/ 医学系研究科産業医学分野 教授
14	10月21日 (金)	防災・危機 管理分科会	講演	川瀧 弘之	東日本大震災の対応～ 初動の取り組みと復興 の現状～	国土交通省 東北地方整備局長
15		安全管理活 動分科会 (第1会場)	講演	中嶋 洋介	安全を創る「リスクのコ ミュニケーション」	(一社)品質と安全文化フォーラム 代表理事
16		安全管理活 動分科会 (第2会場)	講演	大橋 智樹	ヒューマンエラーの本 質と対策 —産業心理 学の立場からの提言—	宮城学院女子大学 学芸学部 教授 /学長戦略室 室長
17		機械・設備 等の安全分 科会	講演	中村 昌允	岐路にきた日本の安全 管理 ～現場力の低下 にどう対応するか～	東京工業大学 イノベーションマネ ジメント研究科 特任教授
18		化学物質管 理分科会	講演	清水 英佑	職業がんの発生と予防 対策について	中央労働災害防止協会 労働衛生調 査分析センター 所長
19		メンタルヘル ス/健康 づくり分科 会	講演	山本 晴義	災害に伴う職場のメン タルヘルス	(独)労働者健康安全機構 横浜労 災病院 勤労者メンタルヘルスセン ター センター長

参考 2

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）
 東北地方の各県から提出される研究発表一覧（78 件）

(1/3 宮城県)

No	県	発表日	分科会	演 題	発表者	事業場・所属
1	宮城	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	津波や劣悪な作業環境から作業員を守れ～復興作業員の安全確保～	阿部 善久	日本製紙（株） 石巻工場 安全環境管理室 安全衛生管理課長
2	宮城	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	大規模災害時における団体対応工事の事例	佐藤 正之	宮城県解体工事業協同組合 理事長
3	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災「実体験からの学び」～備えあっても憂いあり～	永井 循	リコーインダストリー（株） 東北事業所 ものづくり統括本部 人材戦略センター 人材統括室 東北管理グループ
4	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	災害発生時企業は地域の一員として何ができるのか。	吉田 芳幸	（株）ヤヨイサンフーズ 気仙沼松川工場 総務課
5	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災からの石巻港復旧の取組みと震災から得た教訓・防災対策	今野 昭一	南光運輸（株） 港運課 課長
6	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	東日本大震災の津波により仙台東部道路で発生した災害廃棄物処理での対応と今後の展望	大槻 法雄	（株）ネクスコ・メンテナンス 東北 保全部 技術管理課 係長
7	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	「共助」企業と企業、企業と地域の繋がり、民間企業の重要な役割	日下 仁史	TDF（株） 総務部 総務課
8	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	震災からの復旧と震災後の BCP 再構築について	志村 竜也	東京エレクトロン宮城（株） 総務部 部長
9	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災からの教訓～製造所における危機管理の取組み～	峯岸 修	YKKAP（株） 東北製造所 安全衛生管理室 室長
10	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	地域社会やオーナー様に安全・安心を提供 東北工場の“防災未来工場”への取組み	木村 美保	積水ハウス（株） 東北工場 総務部
11	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	沿岸部における太陽光発電所建設現場の防災・危機管理について	後藤 直喜	（株）ユアテック 新エネ推進プロジェクト 工事管理グループ
12	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	大災害の経験に基づく必要な安全対策について ～震災から5年半を経て～	照井 美紀	日本通運（株） 仙台支店 作業管理
13	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	3. 11大震災からの超スピード復旧	加藤 克也	（株）登米村田製作所 事務課 総務人事係
14	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	原町火力発電所復旧工事における安全の取組みについて	工藤 悟志	東北電力（株） 仙台火力発電所 副所長
15	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	災害対応力の強化に向けた取り組み「空輸対応型電源車」の開発	白岩 靖彦	東北電力（株） 配電部（副長） 配電技術
16	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	組織の統率と直営技術力の鍛錬で挑んだ「東日本大震災」での電力設備復旧対応について	小柳 雄司	東北電力（株） 宮城支店 電力ネットワーク本部（配電グループ）・主査
17	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	東日本大震災の経験から学ぶ各種リスク低減への取組み	佐藤 光剛	ソニー（株） 仙台テクノロジーセンター 仙台サイト 総務室 防災担当
18	宮城	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災からの復旧とその後への防災対策の取り組みについて	吉田 典央	キリンビール（株） 仙台工場 エンジニアリング環境安全担当部長
19	宮城	10月20日	リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会	当社の労働安全衛生システムと取組みについて	千葉 正行	（株）橋本店 技術・管理部 品質・安全課長
20	宮城	10月20日	安全管理活動分科会（第2会場）	日々の安全衛生活動の実践について	尾本 央	（株）橋本店 土木部 課長
21	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第1会場）	東日本大震災後のサービス活動と安全活動について	広川富士一	コマツ建機販売（株）東北カンパニー サービス部 部長

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）

東北地方の各県から提出される研究発表一覧（78 件）

(2/3 宮城県)

No	県	発表日	分科会	演題	発表者	事業場・所属
22	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第1会場）	外国人技能実習生の労働に供う安全監理	生木 大祐	協同組合ネクストステージ東北代表理事
23	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第1会場）	TBM-KY-R 手帳の活用と歴史について	鈴木 和彦	(株)ユアテック 電気設備部課長
24	宮城	10月20日	安全管理活動分科会（第1会場）	災害廃棄物処理業務（石巻ブロック）における安全対策と新規入職者への対応について	木村 剛	鹿島建設(株)東北支店 管理部 現業グループ（石巻・女川地区）次長
25	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第2会場）	当社のゼロ災害への取り組み	阿部 裕樹	(株)小野良組 安全衛生部 主事
26	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第2会場）	三種接地用アース金具の改良	阿部 洋悦	(株)ユアテック 送電部 課長
27	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第2会場）	トヨタグループを挙げての重大災害撲滅への取り組みとトヨタ自動車東日本の安全活動	岩崎 鉄郎	トヨタ自動車東日本(株)本社・宮城大衡工場 安全・環境室安全Gチーフエキスパート
28	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第2会場）	「安全づくりコミュニケーション運動」の実施について	笛吹 興二	東北電力(株) 考査室（保安考査）統括考査役
29	宮城	10月21日	安全管理活動分科会（第3会場）	大震災発生時における対応マニュアルの見直しについて～東日本大震災から学んだこと～	吉田 美樹	仙建工業(株) 本社 安全推進部 副課長
30	宮城	10月21日	機械・設備等の安全分科会	高所作業車用補助ロープ取付確認装置の開発	新山 高平	(株)ユアテック 情報通信部 部長
31	宮城	10月20日	安全衛生教育分科会	重大災害撲滅に向けた安全文化の構築～感受性向上に向けた教育方法の拡大と見直し～	槻川原 徹	(株)ユアテック人財育成センター 安全啓発グループ 講師
32	宮城	10月21日	安全衛生教育分科会	「安全文化の構築」に向けての取り組み	澤田 賀範	(株)ユアテック 安全衛生・品質管理部 課長
33	宮城	10月21日	安全衛生教育分科会	危険体感デモ機を活用した危険感受性向上のための取り組み	峰岸 孝紘	山崎製パン(株) 仙台工場 人事課
34	宮城	10月21日	安全衛生教育分科会	体験学習から学ぶ、命を守る行動	水無瀬 守	水無瀬事務所 所長 労働安全コンサルタント
35	宮城	10月20日	ゼロ災運動分科会	KYT導入の取り組み～定着に至るまでの失敗の数々～	佐藤 政夫	(株)アステム 総務課・課長
36	宮城	10月20日	ゼロ災運動分科会	元請が背中を見せ、「やらされ」から「自ら実行」する安全施策の『質的向上への転換』	小野寺 哲	(株)TTK NTT 事業本部 副本部長兼安全品質管理部長
37	宮城	10月21日	交通安全分科会	ドライドクターを用いた交通安全教育事例	伊藤 幸雄	(株)協和エクシオ東北支店 安全品質管理部門 部門長
38	宮城	10月20日	労働衛生管理活動分科会	現場における受動喫煙防止対策について	熊野 伸一	(株)橋本店 土木部 工事長
39	宮城	10月20日	メンタル/健康づくり分科会	働く人の健康体づくり運動（大崎方式）	氏家 健彦	北日本工業(株) 教育・安全・システム担当キャプテン
40	宮城	10月20日	メンタル/健康づくり分科会	宮城県大崎保健所における「大崎働く人の健康・体づくり運動」の推進について	松本 紀子	宮城県大崎保健所 地域保健福祉部健康づくり支援班
41	宮城	10月20日	メンタル/健康づくり分科会	特定保健指導のプログラム別にみる効果の違いについて	及川 栄子	(一財)社の都産業保健会 健康推進課
42	宮城	10月20日	メンタル/健康づくり分科会	「大崎働く人の健康・体づくり運動」～大企業の取り組みと効果	佐々木久美子	YKKAP(株) 東北製造所 健康管理センター・センター長
43	宮城	10月21日	メンタル/健康づくり分科会	東日本大震災の対応から学んだメンタルヘルス対策の取り組み	樋口てい子	(株)仙台ニコン 総務部 総務課
44	宮城	10月20日	中小事業場分科会	「愛情と信頼」に根ざした安全衛生活動による労働災害予防	畠山 剛士	宮崎工業(株) 管理部 業務課 主任

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）

東北地方の各県から提出される研究発表一覧（78 件）

（3/3 宮城県）（1/2 福島県）

No	県	発表日	分科会	演 題	発表者	事業場・所属
45	宮城	10月20日	中小事業場分科会	中小企業における、安全衛生法改正等への社内及び関係先への周知徹底について	遠藤 治興	遠藤興業（株） 取締役副社長
46	宮城	10月20日	中小事業場分科会	東日本大震災を受けての、事業継続の実例と、今後の災害への備えについて	吉田 大亮	東北ドック鉄工（株） 総務部 総務室
47	宮城	10月20日	中小事業場分科会	リスクアセスメントについて	坂内 誠	（株）橋本店 建築部 係長
48	宮城	10月20日	中小事業場分科会	未曾有の大震災から5年。防災に対する準備と心構え	水野 暢大	水野水産（株） 代表取締役社長
49	宮城	10月20日	中小事業場分科会	アソカ止めていたプレス機が動いた。防災に絶対大丈夫はない	梶原功一郎	梶原電気（株） 専務取締役
50	宮城	10月20日	中小事業場分科会	ヒヤリ・ハット活動を通じた安全意識の向上	本多 松一	（株）小野良組 安全衛生部
51	宮城	10月20日	中小事業場分科会	中小企業の『ゼロから始った安全衛生管理活動への取組』の紹介	青沼 美鶴	（株）メイジ 宮城工場 専務取締役
52	宮城	10月20日	中小事業場分科会	東日本大震災の災害事例（津波被害）からみる今後の防災対策	小野寺康広	（株）ヤマニシ 生産部 安全室 安全衛生担当
53	宮城	10月20日	第三次産業分科会	大震災後における「食品工場・飲食店舗」で働く人たちの安全と健康管理	竹田 和紀	（株）カルラ 製造部・次長
54	宮城	10月20日	第三次産業分科会	非正規職員の参加の安全衛生活動・安全衛生委員会運営	千葉 良広	みやぎ生活協同組合 生産部 事務管理課 課長
55	宮城	10月20日	第三次産業分科会	冷凍品・冷蔵品ピックにおけるピッカーに掛かる負荷の軽減について	小野寺 淳	成田セットセンター 物流本部 成田セットセンター長
56	宮城	10月20日	第三次産業分科会	熱中症対策に関する問題とその取り組みについて	中村 仁	ワールド警備保障（株） 常駐警備部 課長
57	宮城	10月20日	第三次産業分科会	東日本大震災を経験して改めて考えさせられる職場の防災・震災対策について	深堀 嘉宏	（有）エクスス 代表取締役
58	宮城	10月20日	第三次産業分科会	社内と社外の両面で交通事故ゼロを達成し地域社会の安全に貢献できる警備会社を目指す	夏原 潤	ゴリラガードギャランティ（株） 仙台営業所 所長
59	宮城	10月20日	第三次産業分科会	一人ひとりが対策を決め、目標を立て、実践する「ひとりKY」の定着について	蜂谷 広信	東洋ワークセキュリティ（株） 中央安全衛生委員会 事務局
60	宮城	10月20日	第三次産業分科会	社会福祉施設における腰痛要因と予防対策の分析	清治 邦章	（独）労働者健康安全機構 宮城産業保健総合支援センター 産業保健相談員
61	宮城	10月20日	第三次産業分科会	社会福祉施設における安全衛生活動の取り組み	水澤 里志	（福）東北福祉会 せんだんの社 副施設長
62	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災を経験した教訓からの防災・震災対策	小沢 修一	日本化成（株） 小名浜工場 管理部環境安全グループ グループマネージャー
63	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災に伴う（株）クレハいわき事業所の被害と対応	柳原 裕	（株）クレハ 生産本部いわき事業所 環境・安全部長
64	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	災害想定訓練について	川上 聖司	（株）IHI航空宇宙事業本部 相馬事業所 総務部 スタッフ
65	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災から学んだ安全対策と事前準備の必要性	佐藤 一広	福島製鋼（株） 取締役 吾妻工場長 鑄造技術・生産技術担当
66	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	専門推進組織による防災対策の深堀と後戻りしない管理体制構築に向けた取組み	外山 武一	会津オリンパス（株） 業務部BCP推進グループ グループリーダー

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）

東北地方の各県から提出される研究発表一覧（78 件）

（2/2 福島県）（岩手県、秋田県、山形県）

No	県	発表日	分科会	演 題	発表者	事業場・所属
67	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	東日本大震災による被害への対応と震災を踏まえた事業継続計画の再構築	矢口 辰吉	ユニ・チャームプロダクツ（株）福島工場 管理G
68	福島	10月20日	防災・危機管理分科会（第1会場）	過去の震災経験を反映した BCM「7日間プロジェクト」の構築と実績。更なる改善。	佐藤 徹	会津富士通セミコンダクターマニファクチャリング（株）設備部 設備部長
69	福島	10月20日	リスクアセスメント/マネジメント分科会	設備安全対策から作業者の行動に力点を置いたリスクアセスメントへの移行	大埜 真志	（株）IHI航空宇宙事業本部相馬事業所 相馬第一工場 製造グループ 職長
70	福島	10月20日	安全管理活動分科会（第1会場）	「工場一丸！5S活動」による安全意識の向上	小野 隼人	（株）IHI航空宇宙事業本部相馬事業所 相馬第二工場 組付部品グループ 班長
71	福島	10月20日	安全管理活動分科会（第2会場）	放射線管理下での配電線工事の現状について	山田 貴之	（株）ユアテック 相双営業所配電課 計画係長
72	福島	10月20日	中小事業場分科会	3.11 東日本大震災で学んだこと	林 明博	林精器製造（株）代表取締役社長
73	岩手	10月21日	防災・危機管理分科会（第1会場）	トヨタ紡織東北株式会社における防災・震災対策	高瀬 利男	トヨタ紡織東北（株）管理部環境安全室
74	岩手	10月21日	防災・危機管理分科会（第2会場）	東日本大震災の実録と教訓	八巻 洋賢	トヨタ自動車東日本（株）岩手工場 岩手ものづくり改革室室長
75	岩手	10月21日	安全管理活動分科会（第2会場）	浸透させよう『止める・呼ぶ・待つ』～築こうゼロ災文化～	飛田 博幸	トヨタ自動車東日本（株）岩手工場 車体部 第1ボデー課チーフエキスパート
76	岩手	10月21日	機械・設備等の安全分科会	非常灯機能確認器具の開発による傷害事故防止	主演 貴裕	東日本電気エンジニアリング（株）盛岡支社 盛岡支社 盛岡電力サービスセンター 主任
77	秋田	10月21日	機械・設備等の安全分科会	亜鉛合金鋳造工程での品種切替時の問題点改善	畠山 大樹	秋田ジンクソリューションズ（株）調合金グループ
78	山形	10月20日	第三次産業分科会	店舗での小集団活動によるリスクアセスメントの取組み	池田 正廣	（株）ヤマザワ 取締役 人事教育部長

全国産業安全衛生大会の詳細は Web で

<http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

中災防 全国大会 で 検索



中災防 のトップページからも閲覧いただけます。

全国産業安全衛生大会（平成 28 年 10 月 19～21 日）
シンポジウム・パネルディスカッション（5 件）

【1】 10 月 20 日（木） 防災・危機管理分科会

テーマ：東日本大震災からの教訓 沿岸域での津波被害の低減を考える

【基調講演】

東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

【シンポジスト】

新日鐵住金(株)釜石製鐵所 総務室 木村 博行

日本製紙(株) 顧問 藤崎 夏夫

仙台市まちづくり政策局 (未 定)

【司 会】東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

【2】 10 月 20 日（木）

リスクアセスメント・マネジメントシステム分科会

テーマ：ISO45001 の発行と事業場の安全衛生水準の向上に向けて
 ～第三者認証をうまく活用する～

【パネリスト】

明治大学名誉教授 校友会会長 向殿 政男

(株)テクノファ 取締役会長 平林 良人

大阪安全衛生教育センター講師 中災防安全衛生エキスパート 松田 章

【助言者】

経済産業省 産業技術環境局 基準認証ユニット 国際標準課長 福田 泰和

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課
 主任中央産業安全専門官 安達 栄

【司 会】中央労働災害防止協会
 マネジメントシステム審査センター 所長 白崎 彰久

【3】 10 月 20 日（木） 労働衛生管理活動分科会

テーマ：衛生管理者に対する教育と育成

【パネリスト】

椎野労働衛生コンサルタント事務所 代表 椎野 恭司

(同)アール CEO 對木 博一

トヨタ自動車(株) 安全健康推進部 安全衛生室 室長 宮脇 英次

【司 会】HOYA(株) HOYAグループ OSH 推進室
 環境・安全衛生統括マネージャー 神津 進

【4】 10月21日（金） 安全衛生教育分科会

テーマ：危険感受性を考える

【パネリスト】

新日鐵住金(株) 安全推進部 部長	朱宮 徹
関西大学 社会安全学部社会安全研究科 教授	中村 隆宏
慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授	高野 研一
【司 会】中央労働災害防止協会 教育推進部 審議役	福成 雄三

【5】 10月21日（金） 化学物質管理分科会

テーマ：化学物質のリスクアセスメントにおける簡易ツールの活用について

【パネリスト】

みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム コンサルタント	貴志 孝洋
(一財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所 研究第二部 研究第四課長	石井 聡子
パナソニック健康保険組合 産業保健センター 産業衛生科学センター 労働衛生推進部長	高橋 克明
中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 副所長	荒木 明宏
【助言者】厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課長	奥村 伸人
【司 会】中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター	山田 憲一

りよく じゅうじてん

緑十字展 2016

— 働く人の安心づくりフェア in 仙台 —

1 緑十字展 2016 の概要

緑十字展は、昭和 43 年（1968 年）10 月、東京都港区の産業安全会館において開催した安全衛生保護具の展示会がその起源で、本年で 49 回目を迎えます。

労働安全衛生に関する国内最大の展示会です。

本年の緑十字展には約 80 の企業や機関・団体からの出展を予定しています。

- ① 安全衛生分野の保護具・機器、機械の本質安全化に係る機器
- ② 職場環境改善関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野の機械・器具
- ③ 防災対策関連分野、省エネ対策関連など広範な分野の機器、設備など、各社の最新かつ多数の商品・情報を展示

会場内では、出展者（企業・機関・団体等）による一般展示のほか特別展示や特別セミナーなどを企画し、労働安全衛生を中心に、震災・減災対策、交通安全対策のような今日の国民的課題も取り上げる予定です。

また、特別企画として、安全衛生保護具の正しい装着体験を通して安全衛生保護具の有効性を再認識していただける『**安全衛生保護具体験道場**』の開設を企画しています。

開催期間中、全国産業安全衛生大会の参加者をはじめ、企業関係者など約 1 万 2 千人の来場を予定しています。

入場は無料です。

2 特別企画・特別セミナー等について

1 概要

出展者による一般展示の他に、来場者が実際に体験することができる特別企画コーナーを設けます。

また、特別セミナーとして初日・2 日目に安全衛生セミナーおよび震災対策セミナーを開催するとともに、会期中、グルメ・物産コーナーを設けることとしています。

2 特別企画コーナー

(1) 安全衛生保護具体験道場

日本労働災害防止推進会の指導のもと、保護具等を実際に装着しながら、保護具の正しい知識や装着方法を学ぶことができます。

(2) 震災対策に係る特別展示

東日本大震災の教訓を踏まえた、これからの防災・減災を考える写真展、3D映像上映、パネル展示を行います。

(3) 「職場と雇用の復興に向けて」パネル展

被災地3県（岩手、宮城、福島）の労働局管内の震災時の職場の被害と労働行政の対応や、復旧・復興工事の進捗状況、安全衛生対策の取り組みについてパネル等により展示します。

(4) 地元ラジオ局による会場生中継

TBC（東北放送）ラジオが緑十字展会場を生放送する予定です。

3 特別セミナー（予定）

(1) 安全衛生保護具セミナー

① 一般事業場の関係者対象

保護具の選び方、正しい装着方法などについて解説します。

② 工業高校等の学生対象

実際の労働災害事例や保護具の装着体験を通して、安全衛生の基本を解説します。

(2) 震災対策セミナー

企業等における震災対策や東日本大震災の被災地の「語り部」の方による講演を予定しています。

4 グルメ・物産コーナー

ご当地グルメが味わえるグルメコーナーや、名産品などの販売を行うコーナーを設けます。

5 開会式のイベント

宮城県警察音楽隊・カラーガード隊による演奏・デモンストレーションを行います。

6 シャトルバスの運行

会期中、緑十字展会場である、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）と全国産業安全衛生大会の総合集会会場（仙台市体育館）、最寄駅（仙台市地下鉄東西線荒井駅ほか）とを結ぶシャトルバスを運行する予定です。